

SSKP 公益社団法人日本オストミー協会

長 崎 県 支 部 だ よ り 第 1 6 5 号

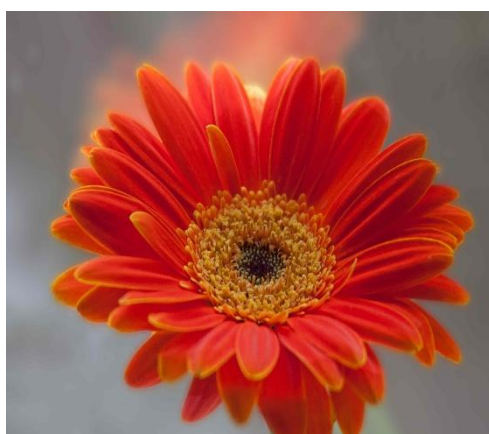
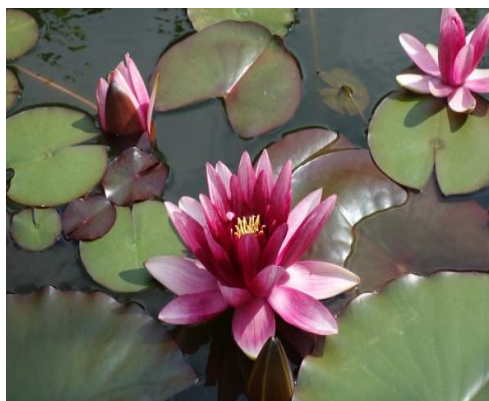


住 所：長崎県西彼杵郡時津町西時津郷 592-2

電 話：090-1929-9873

メー ル：jyun.kan.papa.boxy.0306@gmail.com

編集責任者：黒田純寛



[お見舞い申し上げます]

まず、7月28日、16時27分頃、熊本地方を震源とする震度7の地震で被災されました皆様にお見舞い申し上げます。この地震に伴い、協会本部が随時現地と連絡を取り、7月31日に会員の皆様の御無事が確認されたそうです。本当に良かったです。

私はこの会報の表紙をいつも花にしています。花は色んな場所で色んな花を咲かせてくれます。そして私たち人間に癒しを与えてくれます。今回は9月の花と検索すると出てくる代表的な花を表紙にしました。花を見て嫌な気分になる方はいないと思います。

少しでもこの会報を見られる方が良い気持ちで読んで頂ければ幸いです。

<<お詫びと訂正>>

前回の7月号で光晴会病院の皮膚・排泄ケア認定看護師の氏名の間違いがございました。

(誤) 長戸砂月先生→(正) 長谷砂月先生

大変申し訳ございませんでした。

<<目次>>

1. 本部社員総会が開かれました
2. 諫早地区で社会適応訓練が実施されました
3. 大村地区で社会適応訓練が実施されました

<1. 6月21日岐阜県にて本部社員総会が実施されました>

本来この季節に全国大会があり、今年は山口県での実施予定でしたが諸事情により中止となり、社員総会のみが実施されました。今回はオンラインでの参加も可能との事で、旅費等の削減もするためオンラインで参加しました。

今回の社員総会では会長から協会の現時点での状況の説明が行われました。他県支部代議員の方から様々な質問がありましたが、その場での返答はなく後日紙面での返答を行うとのことでした。状況的には近年の協会の存続危機は変わっておらず、危機回避のため本部会報をPDF(データ)化すること。7月号までは会員分までは本部が印刷していたが、9月号からは全てをデータ化し印刷は各支部でとのこと。その他、オストメイトの方が1つのアプリで繋がることのできる「TUNAG(つなぐ)」というアプリを取り入れていくことの説明がありました。このアプリ1つで組織を強くできるということです。内容的にはまだ不透明な部分も多いので、近く紙面等で説明があると思いますので、その後皆様にはお伝えすることになると思います。ですが、会報をデータ化し、本部で行っていることを支部に任せるということは、支部での予算もない中どうしろと言うのか?会員の皆様は紙面で送られてくるから少しでも読んでくれているがデータで来たものを見られるだろうか?これは会員だけでなく、各病院の認定看護師や各市町村役場等も同様の事が言えるだろう。削減するのは簡単だが、それまでの支部と会員の繋がりを本部はどう感じているのだろうか?今後が不安でならないのは言うまでもないことである。

< 2, 諫早地区で社会適応訓練が実施されました >

6 月 27 日 諫早総合病院にて実施。皮膚・排泄ケア認定看護師の上戸竜一先生より「ストーマ関連合併症と皮膚障害」というテーマでご講演して頂きました。

1. ストーマの合併症:概要と分類

合併症は大きく「外科的合併症」と「管理上の合併症」の 2 つに分類される

- **外科的合併症:** 手術手技や術後の経過、加齢などが原因で発生する。
 - **脱出:** 腸が腹壁から過剰に突出する状態。
 - **陥没:** 腸が腹壁内に陥没する状態。
 - **壊死:** 腸が壊死する状態。
- **管理上の合併症:** 日常のケアが不適切な場合に発生する。
 - 皮膚の発赤、かゆみ、痛み
 - 粘膜の裂傷、かぶれ
 - 細菌感染など



2. 外科的合併症の具体的な症状と対策

嵌伏(かんぷく)

- **症状:** 腸が腹腔内に引き込まれたり、腹部の脂肪増加でストーマが埋もれる状態。
- **原因:** 主に体重増加。術後の食欲回復による急激な体重増加が背景にあることが多い。
- **問題点:** 従来の装具では隙間ができ、排泄物が漏れて皮膚障害を引き起こす。
- **対策:**
 - 厚みのある「コンベックス」タイプの装具に変更する。
 - ストーマ外来で専門家に相談する。
 - 体重管理と適度な運動を心がける。

ストーマの膨隆(ヘルニア)

- **症状:** 腹直筋が弱った部分から腸管が突出し、ストーマ周囲や腹部全体が膨らむ状態。
- **原因:** 腹直筋の筋力低下、肥満、ステロイド薬の長期服用。最も多いのは、咳、いきみ、重い物を持つなどの腹圧がかかる動作。
- **問題点:** 装具が浮き上がり漏れの原因となる。腸管が圧迫され「腸閉塞」を起こすリスクがあり、腹痛や嘔吐があれば緊急手術の可能性もある。
- **対策:**
 - **予防:** 腹圧をかけない生活、腹直筋を支える「サポートベルト」の着用、体重管理が最も重要。
 - **発症後の装具:** 腹部の膨らみに追従しやすいスリット入りの面板や、腹部を包む覆面タイプの装具が有効。

ストーマの脱出

- **症状:** 腸管がストーマから長く飛び出す状態。特に横行結腸ストーマで起こりやすい。

- **問題点:** 長時間続くと血行障害を起こし、最悪の場合は壊死に至る危険性がある。
- **対処法:**
 - まず仰向けになり腹直筋を緩める。それでも戻らなければ優しく手で押し戻す。
 - 腸管の色がピンク色から紫や黒に変わったり、全く戻らない場合は、緊急手術の可能性があるので、すぐに医療機関に相談する。
- **補足:** 生活に大きな支障がなければ、脱出していても必ずしも再手術が必要なわけではない。

3. 管理上の合併症と皮膚障害の対策

日常のケアによって発生しやすい合併症と皮膚障害について解説

粘膜皮膚境界部のグラニュレーション(粘膜の化膿性)

- **症状:** ストーマの根元にポリープ状のできものが多発する状態。
- **原因:** 装具の孔と粘膜が常に接触し、湿潤状態が続くこと。
- **対策:**
 - 装具の孔のサイズをストーマより **1～2mm** 程度大きめに調整する。
 - 改善しない場合は、ステロイド軟膏の塗布、硝酸銀による焼灼、糸で縛って壊死させるなどの治療法がある。

アルカリ性分泌物による皮膚障害(異常起皮症)

- **症状:** 尿や水様便が皮膚に付着し、皮膚が硬く盛り上がる状態。尿路ストーマや水様便の人に多い。
- **原因:** 装具の孔サイズが不適切で、排泄物が皮膚に接触すること。
- **対策:**
 - 孔サイズの調整。
 - 尿を酸性にするクランベリージュースの摂取や、十分な水分摂取で尿を薄める。
 - 食酢と水を **1 対 1** で薄めたものをガーゼに浸し、**15 分**ほど湿布する。

4. 部位別の皮膚障害ケア戦略

皮膚障害の発生部位によって原因と対策が異なるとし、3つのエリアに分けられる。

- **ストーマ近接部の障害:** 主に排泄物の付着が原因。
 - **対策:** 孔サイズを適正化(**1～2mm**の隙間)、交換間隔の短縮、粉状皮膚保護剤(パウダー)やステロイド軟膏の使用。
- **皮膚保護剤貼付部の障害:** 装具へのアレルギー、剥がす際の刺激、頻回な交換、ベルトの圧迫などが原因。
 - **対策:** パッチテストでのアレルギー確認、装具の変更、剥離剤(リムーバー)の使用、適切な交換間隔の遵守、ベルトは指2本分の余裕を持たせる。
 - **特殊な症例:** 温泉水での洗浄、水虫菌による真菌感染、体毛による毛包炎などが原因となったケースも紹介された。
- **皮膚保護剤外部の障害:** 主に補強テープによる刺激が原因。
 - **対策:** テープフリーの装具への変更、皮膚被膜剤による皮膚保護、かぶれた部分を避けてテープをカットするなどの工夫。

5. 質疑応答: ストーマ外来、市販薬、脱出のリスク

講義後、参加者からの質疑応答が行われました。

- **ストーマ外来の受診方法:** 手術を受けた病院以外で受診する場合、原則として元の病院またはかかりつけ医からの紹介状が必要であると回答した。
- **市販ステロイド薬の使用:** ストーマ周囲のかぶれに市販薬を使用していることについて質問。
一時的な使用は問題ないが、繰り返す場合は根本原因の解決が必要だと指摘。特に装具を剥がす際の剥離剤(リムーバー)の使用の重要性を強調した。
- **ストーマ脱出のリスクと再手術**
 - **リスク:** S 状結腸や横行結腸のストーマで高い。
 - **壊死のサイン:** 腸管が黒く硬くなること。
 - **再手術の基準:** 脱出を繰り返して壊死リスクが高い場合や、生活に著しい支障がある場合に検討される。単に脱出しているだけでは必須ではない。

6. 質疑応答: 広範囲の皮膚トラブルと長期管理

- **広範囲のかぶれの対処法:** 原因究明が第一であるとし、セラミド入りの装具への変更や皮膚被膜剤の使用など、複数の対策を組み合わせることを提案。
- **10 年経過した尿管皮膚ろうの注意点:** 十分な水分摂取を心がけ、尿路結石や腎盂腎炎を予防することが最も重要

7. 製品紹介と情報交換

セッションの最後に製品紹介と参加者間の情報交換が行われました。今回は長崎ムトウの野田様が来られており装具の紹介等をして頂きました。

- **ヘルニア予防用腹巻き:** 切り込みを入れてもほつれない素材でできており、価格は **3,300 円**。
- **入浴用防水フィルム:** 入浴時に使用するフィルムについて話題が及んだ。
 - 価格は **10 枚で 3,000～4,000 円**程度であると述べた。
 - 市販のフィルムは剥がれやすいため、ドラッグストアで購入した布テープを代用しているという自身の工夫を共有した。
- **ヘルニア予防用腹巻きの価格:** 3,300 円
- **入浴用シールの価格目安:** 10 枚で 3,000 円～4,000 円
- **ストーマ脱出の長さの例:** 15cm～20cm
- **ストーマ孔の適切な隙間:** 1～2mm
- **お酢と水の湿布の割合:** 1 対 1
- **お酢と水の湿布の時間:** 15 分
- **ベルト装着時の適切な隙間:** 指 2 本分
- **ヘルニアベルトの対応サイズ:** 腹囲 **110cm** まで
- **その他,** 紹介した症例として、ステロイド軟膏の塗布により、粘膜の化膿性が約 1 ヶ月で治癒したケースがあった。

また、温泉水でストーマ周囲を洗浄していたことが原因で皮膚がかぶれていた患者が、洗浄を水道水に変えたところ症状が改善したケースも紹介されました。

< 3, 大村地区で社会適応訓練が実施されました >

7 月 25 日大村市民病院にて実施され、皮膚・排泄ケア認定看護師の田村真由美先生に「今後のストーマ管理を考える～安心して自宅で生活するために～」をテーマに講義して頂き、14 名の参加がありました。

将来に備える「人生会議(ACP)」の重要性

会議の冒頭、プレゼンターが在宅医療サービスに関する包括的なプレゼンテーションを行った。将来、自身の意思決定が困難になった場合に備え、自らの価値観や希望を事前に家族や医療関係者と共有しておく「人生会議」(アドバンス・ケア・プランニング:ACP)の重要性が強調された。例えば、「最期まで自宅で過ごしたいか」「すぐに入院したいか」といった具体的な希望を明確に伝えておくことが推奨された。特に夫婦間であっても「以心伝心は難しい」ため、言葉やメモによる明確な意思表示が不可欠であると述べられた。



2. 在宅サービスの財源:介護保険と医療保険

在宅で利用可能な医療サービスは、主に「介護保険」と「医療保険」の 2 つの財源によって賄われることが説明された。どちらの保険も適用できない場合は「全額自己負担」となる。在宅医療の現場では介護保険の利用が優先されるルールがあるため、ケアマネジャーと十分に相談し、利用者にとって最も不利益の少ない方法を選択することが重要であると指摘された。

3. 介護保険の申請手続きと認定プロセス(大村市)

大村市における介護保険の申請から認定までの具体的な流れが詳細に説明された。

- 対象者:
 - 第一号被保険者: 65 歳以上の方。
 - 第二号被保険者: 40 歳から 65 歳で、がんなどの特定 16 疾病を持つ方。
- 相談窓口: 大村市長寿介護課(浜屋跡地 2 階)。
- 申請プロセス:
 1. 市役所(長寿介護課)で申請書類を受け取る。
 2. 主治医に「主治医意見書」の作成を依頼する。
 3. 市の調査員による「認定調査」を受ける。入院中に調査を受ける方が認定されやすい傾向があるとの情報が共有された。
 4. 介護認定審査会による審査(期間は約 30 日)。
 5. 「要支援 1・2」「要介護 1～5」または「非該当」の認定結果が通知される。
- その他:
 - かつてはストーマ保有者は認定が下りやすかったが、現在は基準が厳格化しており、「非該当」となるケースが増加している。そのため、元気なうちに早めに相談し、一度でも認定(例:要支援 1)を受けて登録しておくことが推奨された。登録があれば、将来状態が悪化した際に「区分変更」の手続きがスムーズに進むという利点がある。

3. 訪問診療:医師による定期的な在宅医療

医師が計画的に患者の自宅を訪問し、診察、薬の処方、生活に関するアドバイスなどを行うサービス。緊急時に駆けつける「往診」とは異なる。ストーマ患者が脱水症状を起こしているが、救急車を呼ぶほどではないといった状況で利用できる。費用は医療保険が適用され、1 割負担の場合、月額約 6,000 円から 10,000 円程度が目安となる。

5. 訪問看護: ストーマ管理と家族の負担軽減

看護師が自宅を訪問し、医師の指示書に基づいてストーマ管理などの専門的なケアを提供するサービス。家族の介護負担を軽減する効果も期待でき、例えば入浴後のストーマ交換などを依頼できる。

- **費用:** 医療保険と介護保険の両方が利用可能だが、介護保険の方が大幅に安価になるケースが多い。
 - **医療保険(1 割負担):** 月の初回利用時に約 5,300 円、それに加えて利用ごとの料金(例: 週 3 回利用で 1 回 855 円)が発生する。
 - **介護保険(要介護認定者):** ストマケア(30 分～1 時間)で 1 回あたり約 470 円程度と、費用負担が大きく軽減される。

6. 訪問介護とデイサービス: 日常生活の支援

日常生活を支えるための在宅サービスとして、訪問介護とデイサービスが紹介された。

- **訪問介護:** ホームヘルパーが自宅を訪問する。掃除、洗濯、買い物代行などの「生活援助」のほか、ストーマのパウチに溜まった排泄物を処理する「便捨て」などの「身体介護」も依頼できる。費用は介護保険が適用され、身体介護(20 分未満)で 1 回 160 円前後と安価だが、夜間・早朝の利用やヘルパー 2 名体制の場合は追加料金がかかる。保険の支給限度額を超えないよう、ケアマネージャーとの計画的な利用が重要。
- **デイサービス:** 自宅での入浴が困難な場合や、家族の休息(レスパイトケア)を目的として利用される。施設によっては入浴後のストーマ交換に対応してくれるが、対応不可の施設もあるため、利用開始前の確認が必須。利用には要介護または要支援認定が必要。費用は半日の利用で 500 円前後が目安。

7. 大村市における介護認定とサービス提供の課題

プレゼンテーション後の質疑応答で、大村市における介護サービス利用の現実的な課題が浮き彫りになった。

- **認定の厳格化:** 「にっちもさっちもいなくなる前に相談すべきか」という質問に対し、プレゼンターはこれを肯定。現在、大村市では認定基準が非常に厳しく、以前はストーマがあるだけで受けられた要支援認定が、歩いて相談に来ただけで「元気だからダメ」と判断されるケースもあるため、早期の相談と登録が改めて推奨された。
- **サービス提供の地域格差:** 認定を受けても「事業所が遠い」という理由でサービスを断られた実体験を共有。近隣の諫早市はブロック制で対応が異なると指摘した。
- **保険利用の工夫:** 自身の経験から、介護保険でのサービス利用が滞る場合、医師の意見書が通じやすい医療保険で訪問看護を依頼する方がスムーズに進んだと語った。
- **認定は受けられてもサービスは受けられない実態:** 夫が動けるという理由で一度は介護保険を断られた後、看護師の尽力でようやく要支援認定を得たものの、結局「田舎だから行く業者がない」と言われ、実質的にサービスを受けられていない窮状を訴えた。

8. 協会としての取り組みと今後の展望

市の制度への介入の難しさ: 協会として市に直接介入することは難しいとしつつ、ストーマ患者の給付金問題に言及。給付金の財源は国 50%、県 25%、市町村 25%という構成であり、市町村の財政負担が重いことが増額に消極的な背景にあると説明した。

- **国への働きかけ:** 協会としては、給付金制度の改善を目指し、厚生労働省への働きかけを継続していると報告した。
- **参加者へのメッセージ:** 認定の厳しさは大村市固有の問題であり、財政問題だけではないとの反論があった。今回の交流会はまず現状を知るきっかけであり、困った時の相談先としてストーマ外来の看護師や地域包括支援センターがあることを覚えておいてほしいと述べた。最後に、家族と「人生会議」を開くことの重要性を改めて強調した。

<支部長のつぶやき>

私は人々に平等に咲く花をテーマにこの支部だよりを作成しています。これには、私達障がい者が健常者と同様に分け隔てなく皆が平等でありたいという気持ちが込められています。今回インターネットで「災害・花」と検索するとある奇跡の物語が出てきましたので皆様にもご紹介いたします。

題名は**＜絶望の地に咲いた「希望の花」たち。過酷な災害から立ち上がり、人を救った 3 つの植物の奇跡＞**という題名です。

皆さんは、ある一つの「花」が、傷ついた人間の心を救い、街全体の復興のシンボルになる瞬間があるのをご存知でしょうか。

植物には、私たちの想像を遥かに超えるたくましさがあります。今回は、戦争や天災といった圧倒的な絶望のなかで、いち早く芽吹き、人々に「生きる希望」を与えた**3 つの奇跡の花**のエピソードをご紹介します。

いま、何かに立ち向かっている人や、心が少し疲れてしまっている人にも、ぜひ読んでいただきたい物語です。

1. 広島を火を、尼崎の水（塩害）を乗り越えた「キョウチクトウ」

最初にご紹介するのは、美しく鮮やかな花を咲かせる反面、株全体に強い毒を持つことでも知られる「キョウチクトウ」です。「危険な植物」というイメージを持たれがちですが、実は日本を代表する**2 つの都市**で、「復興のシンボル」として深く愛されています。

1945 年 8 月 6 日、広島に原子爆弾が投下されました。街は一瞬にして壊滅し、当時は「今後**75 年間**は草木も生えない焼け野原になるだろう」とまで言われていました。人々が絶望の淵に立たされるなか、翌年、その焦土からいち早く緑の葉を茂らせ、美しいピンクの花を咲かせたのがキョウチクトウでした。

地獄のような惨状のなかで力強く咲くその姿は、被爆した人々にとって「街はまた蘇る、自分たちも生きていける」という、言葉にならないほどの生きる勇気を与えました。この歴史から、キョウチクトウは現在も広島市の「市の花」に指定されています。

◇尼崎市を襲った大高潮と、塩害に打ち勝った緑◇

キョウチクトウの奇跡は、広島だけではなく。兵庫県尼崎市でも、この花は特別な意味を持っています。

1950（昭和 25）年、尼崎市は大型の「ジェーン台風」をはじめとする度重なる巨大台風に見舞われました。このとき街を襲ったのは、猛烈な「高潮」です。押し寄せた海水による塩害で、街の街路樹や植物は軒並み枯れ果て、工業都市として発展途上だった尼崎は茶色く沈んでしまいました。

周囲の植物がすべて枯死していくなか、唯一、何事もなかったかのように青々とした葉を蓄え、鮮やかな花を咲かせ続けたのがキョウチクトウでした。海水にも、その後の復興期における公害にも負けなかったそのタフさから、キョウチクトウは**尼崎市の「市の木」**として今も市民に親しまれています。

「火」にも「水」にも負けないキョウチクトウ。その強い毒性は、過酷な世界を生き抜くために彼らが手に入れた、生きるための武器なのかもしれません。

2. 原爆からわずか1か月。モノクロの街に現れた新鮮な赤「カンナ」

次にご紹介するのは、夏から秋にかけてエネルギッシュな花を咲かせる大ぶりの植物、「カンナ」です。この花もまた、広島の地で忘れられない奇跡を起こしました。

◇爆心地からわずか1キロの奇跡◇

1945 年秋。原爆投下からわずか1ヶ月しか経っていない9月のことでした。すべてが灰になり、モノクロームの世界になってしまった爆心地から、わずか1キロメートルほどしか離れていない現在の東白島町付近の地面から、ある植物がスッと茎を伸ばしました。それがカンナでした。カンナは、焦げ付いた大地を破るようにして、燃えるような真っ赤な大輪の花を咲かせたのです。

◇なぜ、カンナは咲くことができたのか？◇

放射能の恐怖と、すべてを失った喪失感のなかにいた人々は、その鮮烈な「赤」を見て息を呑んだといいます。

なぜカンナは咲くことができたのか。それは、カンナが地中に頑丈な「球根（根茎）」を持つ植物だったからです。地上にあるすべてを焼き尽くしたあの凄まじい熱線も、地中深くにあったカンナの命の源までは届いていませんでした。

「自然は死んでいない。ならば、人間もまた立ち上がれるはずだ」

カンナの赤は、人々の心に復興の炎を灯しました。現在でも広島では、この「原爆を生き抜いたカンナ」の球根が大切に育てられ、平和への願いとともに全国、そして世界へと命のリレーが続けられています。

3. 東日本大震災の津波を耐え抜き、がれきの中で咲いた「ハマナス」

最後にご紹介するのは、日本の海岸沿いに自生するバラ科の植物、「ハマナス（浜茄子）」です。この花は、**2011 年 3 月 11 日**に発生した東日本大震災の被災地で、人々の心の灯火となりました。

◇すべてを流した津波と、残された一本の低木◇

激しい揺れのあと、東北の沿岸部を襲った未曾有の大津波。宮城県石巻市などの沿岸部では、美しい砂浜や松林、そして豊かな自然が一瞬にしてがれきの山へと姿を変えました。さらに、引き波のあとに残ったのは大量の海水による「塩害」です。多くの植物が、津波の物理的な衝撃と塩分によって根腐れを起こし、枯れていきました。

しかし、震災から数ヶ月が経った初夏。がれきがうず高く積まれ、重機が行き交う荒涼とした大和海岸の片隅で、例年通りに美しいピンク色の花を咲かせている植物がありました。それがハマナスでした。

◇牙を剥いた自然に、自然の力で応える◇

ハマナスはもともと、風が強く、栄養が少なく、塩分の強い「海岸の砂地」という非常に厳しい環境を好む植物です。そのため、地中深くへと強靱な根を張り巡らせる特徴を持っていました。

津波が街を飲み込み、すべてを押し流そうとしても、ハマナスの根はしっかりと大地の奥底を掴んで離しませんでした。

がれきだらけのグレーの風景のなかに、ぽつりと咲いた可憐なピンクの花。それは、大津波という自然の猛威に対して、植物が「生命の力」で応えた瞬間でした。被災し、明日への希望を見失いかけていた地域の人々は、このハマナスの姿を見て「私たちもこの地に根を張り、もう一度やり直そう」と、涙を流しながら復興への決意を新たにしたいといいます。

おわりに：私たちが植物の「強さ」から学べること

今回ご紹介したキョウチクトウ、カンナ、ハマナス。これらの花々に共通しているのは、「どれほど過酷な環境であっても、自分の置かれた場所で、ただひたすらに命を全うしようとする強さ」です。

植物たちは、誰かに褒められるために咲いているわけではありません。ただ生きるために、根を伸ばし、葉を広げ、時期が来れば美しい花を咲かせます。その銜（てら）いのない圧倒的な生命力だからこそ、人間の言葉以上に、私たちの心に深く突き刺さり、生きる勇気を与えてくれるのではないのでしょうか。

もし今、あなたが困難な状況にいたり、先が見えない不安の中にいるなら、ぜひこの「希望の花」たちの物語を思い出してください。

大地の下で静かに根を張り、力を蓄えていれば、どんなに荒れ果てた場所からでも、きっとまた美しい花を咲かせる日はやってきます。

引用 URL

[絶望の地に咲いた「希望の花」たち。過酷な災害から立ち上がり、人を救った3つの植物の奇跡 | 一護🧡メンタルケア](#)

ストーマをお持ちの方を結ぶ
無料郵送情報誌(年3回発行)

ゆうじん|結人



「私だけじゃないんだとわかって、ホッとした」
「辛いとき、悲しいとき、『結人』に目を通すと
励まされる!」
とのお声を
いただいて
います。



新規ご登録いただいた方には、
右のプレゼントボックスと、
3つの中からひとつを
選べるプレゼントを
差し上げています!
ご登録はこちらから



※既にご登録いただいている方はご応募できません。
予めご了承ください。

プレゼントBOX



下記の内容が入っています。

- ① 情報誌「結人」25号
- ② ストーマケアと暮らしのガイドブック
- ③ センシュラ ミオとアクセサリのカatalog
- ④ DVD「ご自宅でのストーマケア方法」

A オーガニックコットンを使用したパウチカバー



(横16cm × 縦25.7cm)

B ハンガー付の防水性トラベルポーチ



(横23cm × 高20cm × マチ6-13cm)

C 内田春菊さん著サイン入りコミック本



使用画像・イラスト: © 内田春菊/文化社

コロプラスト株式会社 〒102-0074 東京都千代田区九段南2-1-30 イタリア文化会館ビル11F www.coloplast.co.jp ☎ 0120-664-469 平日9時~17時

ALCARE

ALCARE

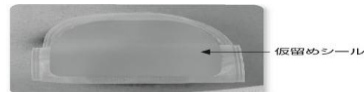
つながりあて、ひらくケア。

バスラック⑩シール BATHRELAX SEAL

入浴用シール
Appliance for Bathing

「目立たせない」目隠し機能と

器具を隠すシールに目隠し機能と目隠しシール本体の貼付と動作が簡単です。



器具を隠すシールに目隠し機能と目隠しシール本体の貼付と動作が簡単です。



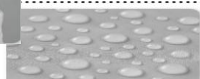
「濡らさない」防水機能で、快適な時間をサポートする入浴用シールです。

○ 器具の上から貼付する仮留めシール 2 貼りやすい剥離紙の分割設計

3 器具が目立ちにくい目隠し機能 ○ 皮膚への負担が少ないシール本体
器具を気にせず、入浴時間を過ごせます。剥離時に角質がはがれにくい粘着剤と体の動きに合わせて伸び縮みする素材を使用することで、皮膚がダメージを受けにくいです。

器具

器具本体を覆い、濡らさない防水機能。
器具を乾かす手間を減らせます。



シール本体 仮留めシール フリッパディアル

〒東京都墨田区錦糸 1 区 2-1 会社ビルカレント 1 9 階 〒130-0013
www.alcare.co.jp 0120-770-863 土・日・祝 9:00-17:00 除く 5:00-17:00

お問い合わせ セールセンター